



# きらら通信



発行：一般社団法人北海道歯科衛生士会 〒001-0017 札幌市北区北17条西3丁目 木村ビル305

TEL:011-709-7888 FAX:011-709-8882 <https://doueikai.com/>

## 「ミニさっぽろ2023」に出展しました

日時：令和5年9月30日(土) 10月1日(日) 9:00~17:00

場所：アクセスサッポロ

来場者数：191名 ボランティアスタッフ：28名(学生7名)

こどものまち「ミニさっぽろ2023」は、楽しみながら社会の仕組みを学ぶ、小学3・4年生対象の職業体験イベントです。本会は「こどもデンタルクリニック」として、ユニット操作、マネキンを使用したクリーニングや、シーラントを体験してもらうブースを展開しました。

2回目の出展となる今回は、体験内容を一つ増やしたことによりスペースを拡大、定員12名・1クール50分間で実施しました。

ご協力いただいた企業・養成校の皆様

- ・日本アイ・エス・ケイ株式会社
- ・サンスター株式会社
- ・ナガイレーベン株式会社
- ・札幌歯科学院専門学校
- ・札幌医学技術福祉歯科専門学校
- ・吉田学園医療歯科専門学校



1 白衣を選んで、グローブ装着。準備万端です！



2 歯科衛生士のお仕事とは？事前に体験内容を説明。



3 ユニット操作では、術者・補助者・患者を体験してもらいました。



4 PMTCコントラの使い方を確認！顎模型に塗布した人工プラークを除去します。



5 シーラント体験では、光重合型仮封材を使用しました。



6 お給料を受け取り無事終了お疲れさまでした！！

スタッフの説明をしっかり聞いて、真剣な眼差しで取り組んでいる姿や、白衣を着て嬉しそうにしている様子など、たくさんの子供達のいろいろな表情を見ることができました。この体験を通じて、歯科衛生士の職業に興味を持ってもらえたら嬉しく思います。協賛企業はじめ、ご協力いただきました会員・学生ボランティアの皆さまのおかげで、無事に終えることができました。ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました！



お友達が描いてくれました！  
ありがとう！



# キラッと★歯科衛生士

今回の「キラッと歯科衛生士」は男性歯科衛生士にスポットを当てました。北海道初の男性歯科衛生士として第一線でご活躍されている松本さんですが、実は、歯科衛生士は希望の職業ではなかったとのこと。しかし、歯科衛生士の職業に魅了され、今日に至ります。松本さんのお人柄や、熱いパッションを感じてください!!

松本 崇嗣さん（札幌支部）

出身校：2003年 北海道ハイテクノロジー専門学校（現：札幌看護医療専門学校）卒業  
2021年 北海道医療大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程 修了



## 歯科衛生士を「続けよう」と感じたきっかけ

元々は、他学科に編入しようと思っていたので、入学して1年間は、歯科衛生士として働くイメージがでせずに過ごしていました。しかし、2年生の臨床実習で、歯科医院で働く歯科衛生士さんが患者さんに接する姿を間近で見学できたり、座学ではわからなかったことが実習を通して理解できた時に「面白い」と感じ、「働いてみよう」と思いました。歯科衛生士を続ける覚悟を決めたのは、実際に働き始めてからです。患者さんと接する中で、口腔内の改善がみられ、患者さんと一緒に嬉しさを感じた時に「一生の仕事」として意識するようになりました。

## 卒後から現在のお仕事について教えてください

卒後は、歯科医院や大学病院で、一般診療・訪問診療など通常の歯科衛生士業務を行ってきました。訪問歯科や障がい者歯科など、歯科衛生士としての知識や技術はもちろんですが、体力も必要とする分野にはもっと男性がいてもいいのかなとも思います。

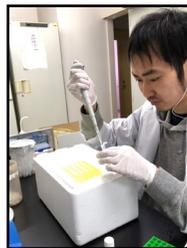
現在は、歯科衛生学科の教員として養成校に勤務しています。今までの経験を活かして、歯科衛生士を目指す学生への手助けができればと思い、日々奮闘しております



▲訪問診療の1コマ

## 女性が多い環境で、大変だったこと、困ったことはありましたか

学生だった20年前は、男性歯科衛生士がいない時代だったので、当時の学校の先生や、実習先の院長・歯科衛生士の方々が大変だったのではないかと思います。実習先での更衣室など、僕自身は皆さまがフォローしてくださったので、男性だから大変だったという思いはしておりません。「歯科衛生士」になりやすい環境を提供していただいたので、周りにいてくださった皆さまには感謝しかありません。就職してからは、男性歯科衛生士としての道を示さなくてはいけないと勝手にプレッシャーを感じたり、自信がなくて将来が不安になったことはありました。



▲大学にて研究

歯周病について深く学ぶため、大学進学を決意したそうです



## 松本さんにとって歯科衛生士の魅力とは

患者さんとの関わり合いの中で、「どのようにしたら歯を残せるのか?」「美味しく食事をするにはどうしようか?」など患者さんと一緒に考え、時には悩み、結果がでた時に、患者さんが言ってくれる「よかった」の一言を聞けるのが、自分も嬉しい瞬間です。どの年代の患者さんとも、距離が近く一緒に歩むことができるのが魅力だと思います。

## 今後の抱負をお聞かせください

いまは臨床の場から少し離れて、教育に職場が変わったので歯科衛生士の魅力を若い世代に伝えて、「歯科衛生士になってよかった」と思ってもらえるように少しでもサポートできればと考えています。また、男性歯科衛生士の人数を北海道・全国にもっと増やすために、全国に教員として働いている男性歯科衛生士と、連携をとり情報共有して、「男性歯科衛生士の活躍」を発信していく必要があるのかと考えています。いまはまだ男性歯科衛生士=珍しい!なので、10年後・20年後にはそれを変えられたらいいのかなと思います。



▲HRにて連絡事項説明



▲学内実習にて



# 北海道歯科衛生士会の仲間たち

新コーナー！！



各支部の活動やアピール、情報共有したいことなどを会員の皆様に発信していきたいです。今回は「釧路支部」に登場していただきます。



会員の皆様、北海道の東にある“釧路”よりお届けしていきます。釧路には美味しいグルメ“ザンタレ”“スパカツ”“勝手丼”などがあります。食べたことがない方は一度食べてみてください。



観光は釧路湿原が見られる展望台が幾つかあり、カヌー体験ツアーなども楽しめますよ。遊びに来てください。



釧路支部は「釧路歯科医師会」「釧路歯科技工士会」などと協力をしてイベントを行ったり、情報交換・共有が密にできている地域だと思えます。多職種とも顔が見える関係を築いていましたが、COVID-19の感染拡大で色々なことに制限があり交流する機会が減っていました。令和6年3月17日に「令和5年度北海道委託事業 食・口腔機能改善専門職等養成研修会」が開催されることがきっかけになり、少しずつ交流の場が増えて欲しいと思っております。

「口腔機能の大切さ」を理解してくれる方々が増え、歯科衛生士の認知度も上がってきており、乳幼児から高齢者まで色々な形で関わるが増えてきています。今後は会員の皆さまが多くの方で関わりが持てるような環境づくりや、スキルアップできる研修会の企画などを考えて、釧路を盛り上げていきたいと思っております。



## 釧路支部のスター☆ 紹介 齊藤紀子さん

釧路支部の活動に、長い間携わっていただいている会員の1人です。3人のお子さんの子育てと家業の酪農、牛からとれる牛乳を使ったカフェを最近オープンし、歯科衛生士活動も行っています。とてもパワフルで明るい素敵な仲間をご紹介します。

**\*今思っている事\***  
知識を高める時間がなかなか持てないので  
歯科衛生士としての活動は、私で大丈夫？  
と思うこともあります。



**\*家族構成\***  
夫と私  
長女(高3)  
次男(高1)  
次女(中1)

**\*上手くやるコツ\***  
色々な方々の協力を頂きながら  
上手に手を抜く事でしょうか？笑  
(悪い意味ではなくて…)

**\*どんな歯科衛生士活動していますか？\***  
乳児健診の歯科相談  
子育て教室  
高齢者向けの口腔ケアの講座など



カフェ店内にある  
牛のオブジェ！

**\*頑張っている歯科衛生士の皆さんにひと言！\***  
健康な口腔内は元気な身体を作ります。  
口腔内の健康を守ってくれる歯科衛生士は、  
とても素晴らしい職業だと思います。  
自信と誇りを持って頑張ってください！